

平成 2 4 年 度

財政援助団体監査結果報告書

ひたちなか市監査委員

ひ 監 発 第 2 8 号
平成24年10月31日

ひたちなか市長 本間 源基 殿

ひたちなか市議会議長 安 雄三 殿

ひたちなか市監査委員 山田 篤

ひたちなか市監査委員 清水 立雄

財政援助を行った団体の監査結果報告書
の提出について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、平成23年度に財政援助を行った団体の
監査を実施したので、その結果報告書を同条第9項の規定により提出します。

監査対象団体一覧

I. ひたちなか市新製品等開発事業費補助金			P. 1
■株式会社 アサイン	代表取締役	佐川 正夫	P. 2～3
■株式会社 マネジメントシステム	代表取締役	嶋原 育子	P. 4～5
■株式会社 共伸精機製作所	代表取締役	周佐 克智	P. 6～7
■有限会社 インターフェース	代表取締役	秋山 公彦	P. 8～9
■株式会社 福島製作所	代表取締役	福島 正午	P. 10～11
監査の結果			P. 12
II. ひたちなか市市民憲章推進協議会補助金			P. 13
■ひたちなか市市民憲章推進協議会	会長	刈部 操	P. 14～16
監査の結果			P. 17

I. ひたちなか市新製品等開発事業費補助金

第1 監査対象補助金

1 補助金の名称

ひたちなか市新製品等開発事業費補助金

2 補助の目的

新製品・新技術の研究開発を行おうとする中小企業者に対し市場調査費用や開発費用等の一部を補助することで、企業の開発意欲向上を促し、研究開発の円滑化を図る。

3 対象団体名（5団体）

株式会社 アサイン

株式会社 マネジメントシステム

株式会社 共伸精機製作所

有限会社 インターフェース

株式会社 福島製作所

4 所管部署名

経済部商工振興課

第2 監査の項目

1 補助金等交付申請及び交付の手続きについて

2 事業の目的及び実施の状況について

3 経理の状況について

第3 監査年月日及び場所

平成24年10月 5日（金）

監査委員事務局

第4 監査を執行した監査委員

山田 篤

清水 立雄

〔監査対象団体及び代表者名〕

株式会社 アサイン ひたちなか市中根 8 7 9 - 2
代表取締役 佐川 正夫

1 補助対象の概要

(1) 研究開発の名称

ユニット版処遇援助システム開発

(2) 補助金の額

500,000 円

(3) 事業の内容

以前より児童養護施設向けパッケージを開発販売してきた。今般の児童福祉施設の設備運営基準の改正に伴い、今後、小グループでの児童養護施設運営が主体になると考えられるため、セキュリティが万全でその形態に合ったユニット版処遇援助システムを開発する。

(4) 事業期間

平成 2 3 年 8 月～平成 2 4 年 3 月

2 事業の実績について

(1) 補助金等交付申請等の事務手続き

交付申請	平成 2 3 年	8 月 1 0 日
交付決定通知	平成 2 3 年	8 月 1 0 日
交付請求	平成 2 3 年	8 月 1 8 日
補助金交付	平成 2 3 年	9 月 2 日
実績報告	平成 2 4 年	3 月 2 6 日

(2) 収支決算状況

団体より提出された事業の収支決算状況は次表のとおりである。

(単位：円)

収入の部					
科目	当初予算額 (a)	補正額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	比較増減 (e) (d) - (c)
補助金	500,000		500,000	500,000	0
自己資金	564,000		564,000	514,000	△50,000
合計	1,064,000		1,064,000	1,014,000	△50,000

(単位：円)

支出の部					
科目	当初予算額 (a)	補正(流用)額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	不用額 (e) (c) - (d)
人件費	532,000		532,000	507,000	25,000
謝金	200,000	△90,000	110,000	100,000	10,000
委託費	317,000	90,000	407,000	407,000	0
その他	15,000		15,000	0	15,000
合計	1,064,000		1,064,000	1,014,000	50,000

収入決算額	1,014,000	円
支出決算額	1,014,000	円
差引残額	0	円

(3) 事業の実施状況

次に掲げる①～③のセキュリティ技術を開発し、現在販売している標準版処遇援助システムを基本に、ユニット毎に管理ができるユニット版を開発した。暗号化等の技術を開発したことで、専用線を引かなくても情報漏えいの恐れのない通信を安価にできるようになった。

- ① プログラミング技術：個人情報通信及びログイン管理の方式を、新たに開発した。
- ② 公開認証技術：公開認証キーを利用して利用端末を認証するようにした。
- ③ 暗号化通信技術：茨城工業高等専門学校の支援を得て暗号化通信技術を組み込み容易に解読出来ないようにした。

(4) 経理の状況

補助金の執行状況については、諸帳簿及び支出証拠書類等を照合した結果、計数は正確であると認めた。

〔監査対象団体及び代表者名〕

株式会社 マネジメントシステム ひたちなか市春日町8-4
代表取締役 嶋原 育子

1 補助対象の概要

(1) 研究開発の名称

地産食品のネット販売サイトにおける集客から受注・納品までの一貫ネットワークシステムの開発

(2) 補助金の額

500,000 円

(3) 事業の内容

“ひたちなか地域を中核としたこだわりの茨城の食”を標榜したネット販売サイト「つくばデッセ」を立ち上げたが、全体のシステム構成などに多くの課題があるため、新たに集客から受注・納品までの一貫ネットワークシステムを開発する。

(4) 事業期間

平成23年10月～平成24年3月

2 事業の実績について

(1) 補助金等交付申請等の事務手続き

交付申請	平成23年	8月	1日
交付決定通知	平成23年	8月	3日
交付請求	平成23年	8月	9日
補助金交付	平成23年	8月24日	
実績報告	平成24年	3月26日	

(2) 収支決算状況

団体より提出された事業の収支決算状況は次表のとおりである。

(単位：円)

収入の部					
科目	当初予算額 (a)	補正額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	比較増減 (e) (d) - (c)
補助金	500,000		500,000	500,000	0
自己資金	600,000		600,000	541,836	△58,164
合計	1,100,000		1,100,000	1,041,836	△58,164

(単位：円)

支出の部					
科目	当初予算額 (a)	補正(流用)額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	不用額 (e) (c) - (d)
人件費	550,000		550,000	520,918	29,082
旅費	120,000	△120,000	0	0	0
研究開発事業費	80,000		80,000	71,110	8,890
事務費		20,000	20,000	10,153	9,847
委託費	350,000	100,000	450,000	439,655	10,345
合計	1,100,000		1,100,000	1,041,836	58,164

収入決算額 1,041,836 円

支出決算額 1,041,836 円

差引残額 0 円

(3) 事業の実施状況

ネット販売サイト「つくばデッセ」と顧客、加盟店及び配送業者をネットワークで一体化し、一貫した販売ツールを開発したことで、受注から引き渡しまでの処理が簡素化され効率化が図られた。

また、“こだわり”を前面に出し、顧客の反応や指摘を取り入れたことで、顧客にとって利便性の高いホームページになった。

(4) 経理の状況

補助金の執行状況については、諸帳簿及び支出証拠書類等を照合した結果、計数は正確であると認めた。

〔監査対象団体及び代表者名〕

株式会社 共伸精機製作所 ひたちなか市田彦999-36
代表取締役 周佐 克智

1 補助対象の概要

(1) 研究開発の名称

LED基板用打ち抜き金型における切れ刃部への溶着防止処理導入による
カエリレス技術の開発

(2) 補助金の額

500,000円

(3) 事業の内容

アルミプリント基板をプレス金型で打ち抜き加工する際、打ち抜きバリの
発生を防止するため、金型にコーティング処理を施すことで、バリ最小化打
ち抜き金型を開発する。

(4) 事業期間

平成23年8月～平成24年1月

2 事業の実績について

(1) 補助金等交付申請等の事務手続き

交付申請	平成23年	8月	2日
交付決定通知	平成23年	8月	3日
交付請求	平成23年	8月	8日
補助金交付	平成23年	8月	24日
実績報告	平成24年	3月	15日

(2) 収支決算状況

団体より提出された事業の収支決算状況は次表のとおりである。

(単位：円)

収入の部					
科目	当初予算額 (a)	補正額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	比較増減 (e) (d) - (c)
補助金	500,000		500,000	500,000	0
自己資金	880,000		880,000	565,763	△314,237
合計	1,380,000		1,380,000	1,065,763	△314,237

(単位：円)

支出の部					
科目	当初予算額 (a)	補正(流用)額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	不用額 (e) (c) - (d)
研究開発事業費	1,300,000		1,300,000	985,763	314,237
委託費	80,000		80,000	80,000	0
合計	1,380,000		1,380,000	1,065,763	314,237

収入決算額	1,065,763	円
支出決算額	1,065,763	円
差引残額	0	円

(3) 事業の実施状況

従来の通常金型でプレスするとドライプレスで500枚ほどしか抜けなかったところを、今回の技術開発で3,000枚以上抜けるようになった。

また、アルミプリント基板をプレス金型で打ち抜き加工する際、打ち抜きバリの発生を防止するため、金型にコーティング処理を施すことでアルミドライプレスが実現できた。

(4) 経理の状況

補助金の執行状況については、諸帳簿及び支出証拠書類等を照合した結果、計数は正確であると認めた。

〔監査対象団体及び代表者〕

有限会社 インターフェース ひたちなか市高野 2 1 8 7 - 1 7
代表取締役 秋山 公彦

1 補助対象の概要

(1) 研究開発の名称

ワイヤレス安否確認通報装置の開発

(2) 補助金の額

500,000 円

(3) 事業の内容

独居老人を持つ家族，関係者が安否を定期的に確認でき，且つ独居老人に負担のかからない，安心して生活できる低価格システムの提供と普及を図るため，安価なワイヤレス安否確認通報装置を開発する。

(4) 事業期間

平成 2 3 年 8 月～平成 2 4 年 1 月

2 事業の実績について

(1) 補助金等交付申請等の事務手続き

交付申請	平成 2 3 年	7 月 2 8 日
交付決定通知	平成 2 3 年	8 月 3 日
交付請求	平成 2 3 年	8 月 5 日
補助金交付	平成 2 3 年	8 月 2 4 日
実績報告	平成 2 4 年	3 月 8 日

(2) 収支決算状況

団体より提出された事業の収支決算状況は次表のとおりである。

(単位：円)

収入の部					
科目	当初予算額 (a)	補正額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	比較増減 (e) (d) - (c)
補助金	500,000		500,000	500,000	0
自己資金	585,500		585,500	549,729	△35,771
合計	1,085,500		1,085,500	1,049,729	△35,771

(単位：円)

支出の部					
科目	当初予算額 (a)	補正(流用)額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	不用額 (e) (c) - (d)
研究開発事業費	630,000		630,000	596,029	33,971
委託費	455,500		455,500	453,700	1,800
合計	1,085,500		1,085,500	1,049,729	35,771

収入決算額	1,049,729	円
支出決算額	1,049,729	円
差引残額	0	円

(3) 事業の実施状況

次に掲げる①～⑤の機能を取り入れたことで、取り付けが容易で低価格な安否確認通報装置を開発することができた。

- ① ワイヤレス方式のため、相当数の子機が接続可能になり、子機と親機間を結ぶ工事費を大幅に削減できた。
- ② CAL01 型子機呼出ユニットは携帯でコードレスのため、一般木造住宅内であればどこでも持ち運び自由に使用でき、1台で済むようになった。
- ③ FPS03 型子機センサユニットを使うことで、安否確認情報が得られるようになった。
- ④ パソコン用ラピキャストソフトで、複数台の親機を一括監視できるようになった。
- ⑤ デジタルフォトフレームを使うことで、写真を見られるようになった。

(4) 経理の状況

補助金の執行状況については、諸帳簿及び支出証拠書類等を照合した結果、計数は正確であると認めた。

〔監査対象団体及び代表者名〕

株式会社 福島製作所 ひたちなか市堀口603
代表取締役 福島 正午

1 補助対象の概要

(1) 研究開発の名称

披露宴用の新世代演出製品の開発
～iPodTouchを使ったiWeddingの開発～

(2) 補助金の額

500,000円

(3) 事業の内容

ブライダル業界として初めて円卓の列席者個々へのディスプレイを持ち込むため、iPodTouchというAPPLE社製携帯端末兼携帯音楽プレイヤーを利用し、そのディスプレイを「席札」として卓上に置き、スライドショーなど様々な演出を可能とする製品“iWedding”を開発する。

(4) 事業期間

平成23年8月～平成24年3月

2 事業の実績について

(1) 補助金等交付申請等の事務手続き

交付申請	平成23年	7月28日
交付決定通知	平成23年	8月3日
交付請求	平成23年	8月11日
補助金交付	平成23年	8月24日
実績報告	平成24年	3月26日

(2) 収支決算状況

団体より提出された事業の収支決算状況は次表のとおりである。

(単位：円)

収入の部					
科目	当初予算額 (a)	補正額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	比較増減 (e) (d) - (c)
補助金	500,000		500,000	500,000	0
自己資金	550,000		550,000	541,825	△8,175
合計	1,050,000		1,050,000	1,041,825	△8,175

(単位：円)

支出の部					
科目	当初予算額 (a)	補正(流用)額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	不用額 (e) (c) - (d)
謝金	300,000	100,000	400,000	400,000	0
旅費	100,000	△55,000	45,000	42,710	2,290
研究開発事業費	100,000	△5,000	95,000	91,715	3,285
委託費	550,000	△40,000	510,000	507,400	2,600
合計	1,050,000		1,050,000	1,041,825	8,175

収入決算額	1,041,825 円
支出決算額	1,041,825 円
差引残額	0 円

(3) 事業の実施状況

最大 150 台の iPodTouch の同時利用を可能にし、APPLE 社の開発環境や仕様に対応したことで、円卓上に持ち込み、ディスプレイを利用したスライドショーなど様々な演出が実現できた。

また、機能性・利便性・デザイン性を満たすケースを開発した。

(4) 経理の状況

補助金の執行状況については、諸帳簿及び支出証拠書類等を照合した結果、計数は正確であると認めた。

第5 監査の結果

1 所管課に対する所見

- ・ 「ひたちなか市新製品等開発事業費補助金交付要綱」の中に、「ひたちなか市新製品等開発支援事業費補助金審査会設置及び運営要項」で規定している補助金の交付対象者を選定する審査に関する手続きが明示されていないため、要綱等の改定を検討し、明確化を図られたい。
- ・ 補助金等交付決定審査調書に記載の事業期間について、申請者が提出した事業計画書の内容とは異なる期間が記載されているので、適切な事務処理をされたい。
- ・ 委託費について、具体的な仕様書等に基づく契約がなされるよう適切な事務処理を指導監督されたい。
- ・ 謝金での支出が見受けられるが、金額積算の明確さが求められるため、特殊な場合を除き、委託費での支出が適切であると思われる。
- ・ 補助金交付申請時の収支予算書の予算額と事業完了時の収支決算書の予算現額が異なっているところが見受けられたので、金額の変更経過を明確にするよう指導されるとともに、所管課においても事前に変更内容を確認するなど、適切な事務処理に努められたい。
- ・ 予算化されていない科目からの支出がされており、補助金交付申請時の収支予算書の予算額と事業完了時の収支決算書の予算現額が異なっているところが見受けられたので、科目設定等の変更経過を明確にするよう指導されるとともに、所管課においても事前に変更内容を確認するなど、適切な事務処理に努められたい。

2 団体に対する所見

- ・ 研究・開発事業の成果を踏まえ、引き続き工夫・改善に取り組みながら、業績の向上及び販路の拡大等に向けた今後の更なる事業展開を期待する。

Ⅱ. ひたちなか市市民憲章推進協議会補助金

第1 監査対象補助金

1 補助金の名称

ひたちなか市市民憲章推進協議会補助金

2 補助の目的

ひたちなか市市民憲章について、市民生活における実践活動を通じて市民の意識の高揚を図り、より住みよく、より豊かなひたちなか市の実現を目指す。

3 対象団体名

ひたちなか市市民憲章推進協議会

4 所管部署名

市民生活部市民活動課

第2 監査の項目

1 補助金等交付申請及び交付の手続きについて

2 事業の目的及び実施の状況について

3 経理の状況について

第3 監査年月日及び場所

平成24年10月 5日（金）

監査委員事務局

第4 監査を執行した監査委員

山田 篤

清水 立雄

〔監査対象団体及び代表者名〕

ひたちなか市市民憲章推進協議会

会長 刈部 操

1 補助対象の概要

(1) 補助金の額

10,220,000 円

(2) 事業の内容

市民憲章の啓蒙啓発活動並びに各種関係団体との連携により、次の事業を実施する。

- ・市民憲章に関する広報活動及び実践活動
- ・市民憲章を実践する団体及び市民の活動促進
- ・市民憲章推進に関する調査及び研究
- ・その他本会の目的達成に必要と認められる事項

(3) 事業期間

平成23年4月～平成24年3月

2 事業の実績について

(1) 補助金等交付申請等の事務手続き

交付申請	平成23年	5月12日
交付決定通知	平成23年	5月16日
交付請求	平成23年	5月16日
補助金交付	平成23年	5月25日
実績報告	平成24年	5月11日

(2) 収支決算状況

団体より提出された事業の収支決算状況は次表のとおりである。

(単位：円)

収 入 の 部					
科 目	当初予算額 (a)	補正額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	比較増減 (e) (d) - (c)
補助金	10,220,000		10,220,000	10,220,000	0
賛助金	1,200,000		1,200,000	1,321,855	121,855
寄付金	1,000		1,000	0	△1,000
繰越金	705,805		705,805	705,805	0
諸収入	385,195		385,195	391,866	6,671
合計	12,512,000		12,512,000	12,639,526	127,526

(単位：円)

支 出 の 部					
科 目	当初予算額 (a)	補正(流用)額 (b)	予算現額 (c) (a)+(b)	決算額 (d)	不用額 (e) (c) - (d)
事務費	4,363,000		4,363,000	4,299,574	63,426
事業費	6,064,000		6,064,000	5,599,431	464,569
交際費	65,000	4,000	69,000	69,000	0
繰出金	1,950,000		1,950,000	1,900,000	50,000
予備費	70,000	△4,000	66,000	0	66,000
合計	12,512,000		12,512,000	11,868,005	643,995

収入決算額 12,639,526 円
支出決算額 11,868,005 円
差引残額 771,521 円

なお、差引残額については、翌年度へ繰越しとなっている。

(3) 事業の実施状況

本会及び6部会の各種事業を通して、市民憲章とその精神が広く市民に定着し理解されるような啓発活動の推進、並びに各種関係団体との連携強化を図り、市民憲章に基づいた住みよいまちづくりを進めることができた。各部会の主な事業は次のとおりである。

- ・環境部会

環境美化運動、海岸・河川クリーン運動

- ・スポーツ・レクリエーション部会

市民ハイキング、グラウンドゴルフ

- ・文化部会

市民芸術文化高揚事業「歌舞伎鑑賞会」、文化団体活動の助長

- ・青少年部会

社会を明るくする運動及び街頭キャンペーン、少年の主張大会、健全な家庭づくり振興大会

- ・安全福祉部会

交通事故防止啓発活動、介護技術講習会、防火・救急講習会

- ・広報部会

機関紙「わがまち」発行（年3回）、市民憲章の啓発活動

(4) 経理の状況

補助金の執行状況について、諸帳簿及び支出証拠書類等を照会した結果、計数はおおむね適正であると認めたが、一部事務処理について不備が見受けられた。

第5 監査の結果

1 所管課に対する所見

- ・ 団体の収入支出の事務手続きにおいて、一部不適切な処理が見受けられたので、適切な指導監督をされたい。

2 団体に対する所見

- ・ 本会及び各部会での経理処理について、不適切な処理が見受けられたので、会計事務及び決裁規程を定めた規則等を整備し、適正な経理処理に努められたい。
- ・ 支出の根拠となる請求書、領収証等の証拠書類について、用途が不明確なもの、内容が不備なものが見受けられたので、明確な証拠書類を基に適正な事務処理をされたい。
- ・ 支払処理について、現金の引き出しから支払いまでに相当の期間を経過しているものが見受けられたので、速やかな支払処理に努められたい。
- ・ 菊花展の経費支出について、前年度の事業に係る経費を支出していたので、年度内の適正な支払処理に努められたい。
- ・ 賛助金の収入処理について、振込手数料を差し引いて収入処理しているが、振込手数料の処理について見直しを図り、適切な経理処理に努められたい。